

auto fashion import  
オートファッション・インプ

2008年12月1日発行 第14巻第12号 通巻168号 (毎月1回14日発行) 1996年1月24日第3種郵便物認可

輸入車チューニング♥仙台ゼロヨン開催!!

# afimp.

afimp. to year 15!  
2009.1.10. BIG CHANGE!  
afインプが変わります! 乞うご期待!

輸入車♥スタイルアップカーマガジン

2008年12月号 700円  
www.autofashion.com/imp  
次号2009年1月号は12月13日(土)発売

12

SURPRISE STYLE UP! 驚きと感動のスーパーサプライズなテクを一気公開!!

## 大技、小技! サプライズなスタイル創造♥

輸入車チューニング

第3回ゼロヨン大会!! 仙台ハイランドレースウェイで開催!

チューニングカーSP

HKS GOLF GTI

石川エンジニアリングGOLF GTI

バックボーンBORA etc...

ボーナスで買いっ♥新着パーツカタログ

WTCC&RAYS!

世界ツーリングカー選手権が岡山で開催!

王様のホイールストーリー!

BORBET ボルベットホイールの魅力

大収穫!! イベントBEST 101レポート!

VWフェスタ、VW & AUDI、ミチノク、ノルド

北陸ユーロ、ビートル、ロコツーリング

ご真ん中、TT全国オフ、フレンチフルー

afimp注目のインポートカーズ&ブランド!

AC SCHNITZER Profile/HEICO C70

VW Golf VI/HOFELE DESIGN GOLF V GTI



# サブライズ



## TT本来を理想形を具現化した LSD×フィンによるパワーコーデ!

TTの版光磨格がもっと高くて良かったらば、ガルウイングは採用されていたかも? そう思うくらい、この流線形フォルムはSDウイングドアは相性抜群に似合っている。TTだからそのパワーコーデ、ナイト、派手なだけでなくスタイルに凝縮力があふれる。→もともとアクロスで見ても完成度の高い一体系のあるボディワークが印象に残る。いかにも戦闘力があふれるクーペスタイルだ



シートデザインと同じく、一部に黒革を用いてアクセントをつけるのが内張り。真っ赤だけでは少い印象が出たかも

↑NBAデザイン製作のシフトノブ、ブープ、サイドグリップ、そしてメーターフードは、縫製まで統一感のある室内演出を徹底している

↑ウイングドアを気取るなら扉のある内装メイクは不可欠。オープン時、手取りのぞく真っ赤な本革がエキゾチック?

## 大技

### リーガー製エアロノでより強力なインジェクション

個性の強いリーガー製キットを採用したうえで、純正バンパーとフロントリップを一体化し、ダクト部にフィンを取り付け、また、独特の形状を活かして的確な導流分けを行なうなど、ボディファクトリーらしい味付け方にも注目なのだ

### エキゾチックカー的に魅せる内装フルメイク

スポーツカーの内装は黒系にして革手、ウイングドアの採用で身元を、トリアゴノミッドをくっつけてクーペを強調する。大いに参考にしたいポイントであり、流線形は真っ赤な本革を用いて格好よく実現していた

## 大技

↑基本はリーガー製エアロのボルトオン。が、特徴あるフィンが全身に展開されているので、加工されたような印象も



↑バイカラーに彩られたことが功を奏し、全体としてのまとまり感が強調される好結果を描く

### 完成度を高めるボディショップならではの小技、ギミック炸裂

フィンの先端やミラー下、バイカラーメイクの区切りをデルタの色調に合わせた漆で塗り分けたり、内装からも解かれたものとはいえ、ヒネリが効いている。これぞギミック!

## 小技



↑純正バンパーのダクトを加工してフィンインテール。本数はサイド両側3本にて統一

↑ミラーはブラックメッドによる塗り分け。磨ききかれた位置に高度のセンスが光る

↑アクリルは「スチック製」を4本出しのダブルデザインがリアビューに威力を添える

**アップルオート**  
兵庫県宝塚市高司4-1-7 TEL:0797-71-1100  
9:00~19:00/日曜定休

### カスタマイズを得意とするボディショップ

銀金/塗装はもちろんのこと、カスタマイズを全面に打ち出したショップ展開をもつ異色の存在。アップルオート、ガイヤのスタイルアップにも精通しており、依頼によるワンオフメイクも受け付けている。得意とするのはBMWやアウディといったドイツ車。阪神圏のプロショップも稀とする高い技術を、味わってみてはいかがだろうか。



↑店舗は広く複数店舗に作業を進めることができそう。また、輸入車にも対応と思われる塗料や材料、ツールが揃う



# クーペの魅力を最大限に引き出す ランボドア×真っ赤な本革メイク

阪神間のプロショップが頼りにする専らボディファクトリー、初見参。伸びやかな流線形フォルムをもつTTクーペが秘めたポテンシャルを余すことなく引き出すその手腕、確かな技量に大注目なのだ!

PHOTO:小松英章 TEXT:堀口 眞  
問:アップルオート TEL:0797-71-1100 <http://www.apple-auto.net/>

## APPLE AUTO AUDI TT

↑実装着ホイールはクラブリネット7.66x18.5x20.9.5x20. フラッシュサイドマニック×ブラックリム仕様の豪華な仕立てが特徴。ディッシュデザインが意外とTTに似合う



キーワードは「フィン」。  
エアロを逆手にとった着想

実力派ショップがひしめく阪神エリアで高い評価を得ているボディファクトリー、アップルオート。年頭の大阪オートメッセにも出展されていたことで存じの方もいたであろう、「テラ」のモデルカーとして注目を浴びている。モデルの素性の良さを最大限に引き出すシルシをたどる加工技、魅惑のアレンジ方法もまた、聞けば、加えられた手数はすべて、ベアエアロに達したリーガーチューニングのデザイン特性から引いて得たもの。その、具体的には「フィン」からである。

リーガーの8用キットはレーシングな味わいを醸す力作。その最大の特徴はステップリアバンパー内に設置を訴求するフィンが盛り込まれていること。この造形が「T」にエキゾチックカー的なエッセンスを与えている。同店代表の流川センは、そこに着目し、アフター加工のボディを切り取ってダクトを形成後、3枚のフィン、プラス、セパレート、フロントバンパーにも同じく「T」のデザインを採り入れた。その「T」のデザインを採り入れたランボウ化。これら大胆なコンボ技が、魅惑のスポーツカーのような印象を醸し、それを見事に「T」に似合わせている。

また、ガルウイングの場合、乗降時にはインテリアが丸見えとなるが、その対処策も技がたく、ランボウ化の真っ赤な本革に張り替えられている。この内装に採用された赤色はフィンの先端やボディのバイカラーメイクの区切り部分に採用されており、スタイル自体に高い整合性をもたれているのだ。ベアエアロの個性を味にし、装着パーツの特徴をボディ全体に拡大展開し、色合いで「T」のテーマを磨く。評判のボディショップらしい、理にかなったボディメイクである。